

尾道を 読む、 書く。

尾道をテーマとした作品を公募
プロ作家に作品を講評してもらうチャンス！
「尾道を書く」作品募集！

締め切り 2018年10月31日（必着）

ゲスト講師

澤西祐典
福永信
円城塔

第35回すばる文学賞受賞
第5回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞受賞
第146回芥川賞受賞・第43回川端康成文学賞受賞

「おのみち文学三昧」では今年、
土地と文学の関わりを探る企画を
行います。まずは尾道を

「読む」、

これまでに書かれた尾道が登場する
小説についてゲスト三氏が語り合う。

次に尾道を

「書く」、

尾道で三氏がそれぞれに執筆した
作品について語り合う。
そして最後に、尾道を舞台に学生
が執筆した作品の「総評を行う」
という三部構成となります。

第10回 おのみち文学三昧

尾道市立大学日本文学科・尾道市立大学日本文学会共催
2018年12月8日（土）
【会場】しまなみ交流館 2F 大ホール
【時間】11：30～17：00

■尾道市立大学日本文学会大会
11：30～13：30

■公開シンポジウム
「尾道を読む」/「尾道を書く」/公募作品総評
澤西祐典氏、福永信氏、円城塔氏
14：00～17：00

■ロビー展示
・高橋新太郎文庫特別展示
・2018年度フィールドワーク報告

「尾道を書く」作品募集！

2018年度おのみち文学三昧(尾道市立大学日本文学会主催。12月8日、しまなみ交流館にて)の企画のため、高校生・大学生・専門学校生の作品を公募します。

おのみち文学三昧では今年、澤西祐典・福永信・円城塔の三氏をゲストとしてお招きします。今日の日本文壇においてユニークな地位を占める作家である三氏はこれまで、「勝手に町おこし」と銘打って、別府、静岡、福井などで土地と文学の関わりを探る企画を行ってきました。まずはその土地を「読む」、これまでに書かれたその土地が登場する小説について語り合う。次にその土地を「書く」、その土地で三氏がそれぞれに執筆した作品について語り合う。そして最後に、その土地を舞台に学生が執筆した作品の総評を行うという三部構成となります。

尾道においても、尾道についてこれまで書かれた小説について論じ、三氏が尾道に到着して書き下ろした小説について論じたのち、高校生・大学生・専門学校生が執筆した作品の総評を行っていただく予定です。この作品は事前に公募して、文学三昧当日までに三氏に読んでおいていただき、応募作の中から数編を選んで総評の対象とします。創作に興味のある学生にとっては、プロ作家に自分の作品を論評していただくチャンスとなります。

〔締め切り〕 **2018年10月31日(水) 必着**

10月31日午後11時59分のタイムスタンプまで有効

〔応募要項〕

- ・応募は大学・高校・専門学校等の学生・生徒に限ります。
- ・応募原稿は未発表小説に限ります。
- ・字数は800字程度で、完結した作品でも、長編の一部でも可。
- ・「尾道」という単語が作中に登場することが条件です。
- ・冒頭にタイトルと、氏名またはペンネームを書いてください。
- ・原稿末尾に、氏名、住所、連絡先電話番号、学校名と学年を明記してください。

〔作品提出〕

作成したデータをメールに添付し、
尾道市立大学 小畑拓也 (kobatat@onomichi-u.ac.jp)
宛てに送付してください(作品をメール本文として書くと対象外になります)。
メールタイトルを「尾道を書く・作品応募」としてください。
※作品はイベント当日に印刷して配布させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〔注意事項〕

※応募にあたって寄せられる個人情報については、尾道市立大学日本文学科において厳重に管理し、本企画運営上の目的以外には使用しないことをお約束します。
※応募要項に従っていない作品については、選考対象外となりますのでご了承ください。